

第3・4学年 体育科学習指導案

指導者 末光 晃平

1 日時 令和5年10月30日（水）13：55～14：40

2 場所 中川小学校体育館

3 単元名 表現運動 「見つけよう宝物！～タイムスリップ・ジオパーク～」

4 単元の目標

- (1) 表現の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、題材から主な特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができるようにする。（知識及び技能）
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) 表現に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

5 指導観

(1) 児童について

本校中学年の児童（3年男子3名女子3名、4年男子12名女子10名、計28名）は、体を動かすことが大好きで、休み時間には運動場に出てよく遊んでいる。体育の授業にも意欲的に取り組む児童が多い。「①体を使って遊んだり、スポーツをしたりすることが好きですか。」という問いには、24名の児童が肯定的な考えを持っている。「③体育の時間に、友達と教え合ったり、協力したりしていますか。」という問いに、25名の児童が肯定的な回答をしている。このことから運動好きな児童が多く、友達と応援し合いながら活動する雰囲気があることが分かる。

一方で、実態を見ると、仲の良い友達同士で固まって活動する場面も多く見られる。以下は、事前アンケートの結果である。（9月13日 3年生6名 4年生22名 計28名に実施）

1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらかと言えばそう思わない 4：そう思わない

質問項目	1	2	3	4
①体を使って遊んだり、スポーツをしたりすることが好きですか。	16	8	3	1
②体育の授業は好きですか。	19	6	3	0
③体育の時間に、友達と教え合ったり、協力したりしていますか。	7	15	6	0
④体育の時間に、できることができるようになったり、うまくなったりするように、工夫して取り組んでいますか。	8	14	5	1
⑤音楽に合わせて踊るのは好きですか。	13	3	6	6
⑥踊りを見られるのは好きですか。	1	4	13	10
⑦お題から想像して、すぐに動きで表すことが好きですか。	10	9	8	1
⑧友達といっしょに踊りを考えるのは好きですか。	6	11	9	2

表現運動については、活動経験が乏しいこともあり、表したいことをイメージしたり、動きで表現したりすることに苦手意識を感じる児童が多い。自由に創作活動を行う場面では、「決まった動きを覚え、工夫すること＝表現運動」と捉えているため、恥ずかしさを感じて動き出せない児童も多くいる。外国語活動等でジェスチャーゲームをした際には、ペア活動では盛り上がるものの、前に出て発表する場面になると、得意な児童はどんどん発表し、苦手な児童は固まってしまふといった二極化が見られた。事前アンケートの結果では、「踊ると楽しい」という意見も半

数近くある一方で、「見られるのが恥ずかしい」「うまく踊れなかったときに恥ずかしい」といった意見も多くあった。また、リズムダンスに関する問い「⑤音楽に合わせて踊るのは好きですか。」では、苦手な児童が半数以上いた一方で、表現ダンスに関する問い「⑦お題から想像して、すぐに動きで表すことが好きですか。」では、半数以上がどちらかと言えば好きと回答した。表現運動のイメージを子どもたちに尋ねた問いでは、「難しそう」という意見が大多数を占めた。このことから、子どもたちは「表現運動＝リズムダンス」で「表現運動＝リズムに乗って覚えなければならない、決まった動きを上手にできなければならない」という先入観を持っていることが分かった。表現運動はジェスチャーゲームのように自由に表現してもよいという認識がまだ薄いようである。

## (2) 教材について

中学年の表現運動は、身近な生活などから題材を選び、想像の世界に没入しながらなりきって踊ったり、題材の特徴を捉えて表したい感じを表現したりすることが楽しい運動である。また、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る中で、自由に発想することや様々な動きの工夫を考えることの楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

四国西予ジオパークを題材に取り入れたのは、児童の興味を引きつけ、学習意欲の向上を狙うことができる価値ある地域教材だと考えたためである。児童にとっての日常風景である西予市には他の地域にはない特別な良さがあると気付くことで、ふるさとの魅力をもっと発見したいと思う好奇心を高めることができる。ふるさとのよさを誰かに知らせたい、伝えたい、表現してみたいという素直な気持ちを持たせ、表現運動に向かう意欲につなげていく。また、四国西予ジオパークは、その空間的範囲や歴史的な背景などから、想像力を働かせることのできる空想の題材でもある。四国西予ジオミュージアム見学を経験している本校児童にとって、四国西予ジオパークは身近なものであり、生活経験や学習体験を想起することで、多様な発想ができると思った。

## (3) 指導について

本単元は、四国西予ジオパークを題材とした、第3学年及び第4学年の内容「F 表現運動（ア 表現）」の学習で、「身近な生活などの題材から主な特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ること」を重点目標として設定した独自の単元である。

授業の始めでは、表現遊びを行い、心と体をほぐしながら活動への期待感を高める。西予市学体が設定した「表現運動4つのめあて」に沿った表現遊びを集めた「西予市パッケージ」を用いて、児童の反応を見ながら適切な遊びの内容を選択して実施する。「西予市パッケージ」を活用することで児童の表現運動への苦手意識を軽減し、表現運動が楽しみだと感じられるようにしたい。表現遊びの中では、児童への肯定的な声掛けを意識して行うことで、表現運動の楽しさを学級全体が感じながら次の活動へと移ることができるようにしたい。

ペアでの話し合い活動では、「暮らし」に関する宝物を決めたり、途中で起こるハプニングの内容を考えさせたりする。第4時の活動で取り上げた「西予の暮らしの魅力」を想起しながら宝物を決めることができるよう、イメージカードを再度提示したり、話し合いに教師が入りアドバイスをしたりする。また、自分の動きをタブレットPCで確認できるようにすることで、イメージ通りの動きになっているかを確認させる。それぞれの児童が持つ想像力が十分発揮されるように働きかけることで、児童が自信を持って踊り作りに取り組める環境を作る。動きの振り返りの場面では、仲間と互いの動きの良さを伝え合わせる時間を設けることで、人から見てもらい褒めてもらう嬉しさを味わわせ、自由に表現することへの不安を軽減し、次時への意欲を高めさせたい。

授業の最後には、ウェビングマップを用いた個人での振り返りをさせる。これまでの表現運動の授業での学びと関連付けて本時の活動を振り返らせることで、自身の着実な成長を感じ取らせると共に、表現運動を通して心身を開放させることで得られた楽しさに気付かせたい。

## 6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	<p>○表現の行い方について、発表したり書いたりしている。</p> <p>○「四国西予ジオパーク」の特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。</p>	<p>○表現の動きのポイントを知り、楽しく踊るための自分に合った課題を見付けている。</p> <p>○題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫している。</p> <p>○表したい感じや様子にふさわしい動きで踊っていたかどうかを見合い、考えたことを友達に伝えている。</p>	<p>○表現に進んで取り組もうとしている。</p> <p>○誰とでも仲よく踊ろうとしている。</p> <p>○友達の動きや考えを認めようとしている。</p> <p>○場の安全に気を付けて踊っている。</p>

## 7 指導計画

学習過程 (時間数)	活動内容	指導のポイント・関連する教科など
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「西予市パッケージ」や簡単な表現ゲームなどで今後の活動に期待感と見通しを持たせる。</li> <li>・学習のねらいや進め方を確認する。</li> <li>・表現における合言葉を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が手本を見せたり、失敗したりする姿を見せることで誰でも自由に表現活動をしていい場であることに気付かせる。</li> <li>・進んで動いたり、笑顔で活動したりしている児童を称揚し、進んで表現して楽しもうとする意欲を高める。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパークで連想するものをミニカードに書かせ、それをもとに様々な動きを考えさせる。</li> <li>・ペアになって友達の動きを真似する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニカードをもとに、次時から活用するイメージカードを作ることができるようにする。</li> <li>・友達の動きを真似させることで、様々な動き方を体験させるとともに、想像の幅を広げさせる。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海・山・暮らし」の3つの場に分かれ、ローテーションしながらイメージカードを引かせて即興的に表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージカードを引かせて即興的に表現することで、相手の動きに合わせて動くことを体験させる。</li> <li>・よい動きをしたり、友達の動きを認めたりしている児童を称揚し、自由な表現の仕方を考えさせる。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになり、タイムスリップの動きを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「タイムスリップの場面を見たことがあるか」と問いかけ、児童が考えやすいようにする。</li> <li>・表現の流れを「タイムスリップするまで」「タイムスリップ中」「タイムスリップした後」とし、場面転換時の体の動きや表情について考えさせる。</li> <li>・空想の世界を自由に表現することの楽しさを味わわせる。</li> </ul>

<p>6 7 8 (本時)</p>	<p>・ペアになり、表したいイメージをひと流れで表現する。 (6時・・・海の間 7時・・・山の間 8時・・・暮らしの間 (本時))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持って帰りたい宝物について想像をふくらませるために、ジオパークの魅力や特徴について教材との出会い直しを行う。</li> <li>・宝探し中に起こるハプニングを個別に表現する時間を設けることで、自分の世界に没入しながら自由に表現する楽しさを感じ取らせる。</li> <li>・見せ合いの際は、合言葉の中から視点を一つ選ぶようにして、同じ動きでも様々な捉え方があることに気付かせる。</li> <li>・イメージに合った表現ができているかを確認するために、タブレットPCの動画撮影機能を活用する。</li> </ul>
<p>9</p>	<p>・ペアで相談し、ジェスチャー大会で表現するひと流れの動きと場を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習活動を振り返り、結びつけることで、ひと流れの動きを作らせる。</li> <li>・イメージに合った表現ができているかを確認するために、タブレットPCの動画撮影機能を活用する。</li> </ul>
<p>10</p>	<p>・タイムスリップジェスチャー大会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでペアで行っていた表現を全体で共有することで、友達と認め合い、自他の持つ良さに気付くことができるようにする。</li> </ul>

8 本時の目標と展開

(1) 本時の目標 (8/10時間)

- 「四国西予ジオパーク」の特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができるようになる。(知識及び技能)

(2) 準備物

タブレットPC、イメージカード、ワークシート、ウェビングマップ

(3) 展開

学習活動	時間	○主な発問 ・予想される児童の反応	○指導上の支援 ◎評価
1 準備運動を行う。(西予市パッケージ)	10	○ 準備運動をして、心身をほぐそう。 ・ 友達のよい動きを見つけよう。 ・ 合言葉を意識して活動しよう。	○ 「表現運動のめあて」を意識させ、表現の幅が広がるようにする。
表現運動の4つのめあてを意識して「暮らしの場の宝探し」を表現しよう！			
2 「暮らしの場」にはどんな宝物があったか確認する。	5	○ 「暮らしの場」にはどんな宝物があったかな。 ・ 米博物館という建物があったよ。 ・ 古くからの街並みがあったよ。 ・ 美味しい食べ物や果物があるよ。	○ イメージカードを提示して「暮らしの場」の宝物について振り返り、円滑に次の活動に移ることができるようにする。
3 ペアに分かれて、宝物とハプニングを話し合う。	5	○ 宝物とハプニングの内容をペアで話し合っ て決めよう。 ・ ぶどうを取りに行ったらカラスに盗まれ そうになるようにしようかな。 ・ 昔の米を取りに行ったら、武士に追いか けられるようにしようか。	○ 宝物やハプニングの内容が決まりにくい場合は、例を挙げたり、質問をしたりして個別に対応する。
4 音楽に合わせて即興的に踊り、気付いたことを話し合いながら、動きの工夫を考える。	10	○ 宝物とハプニングが決まったら、今日 気を付ける合言葉を決めて、自由に踊っ てみよう。 ・ 今日「たてと横を使って」踊れるよう にしたいな。 ・ 「息を合わせて」を意識して、相手を見 ながら踊ってみよう。 ・ 大きくゆっくり踊って、何をしているか が分かりやすいようにしよう。	○ 意識したいめあてをペアで伝え合うこと で、お互いを観察する際の視点を確かめ る。 ○ タブレットPCの動画撮影機能を用いて、 自分たちの動きを確認させることで、客 観的な視点で動きを振り返らせる。 ◎ 「四国西予ジオパーク」の特徴や感じ を捉え、表したい感じをひと流れの動き で踊ることができる。(観察)
	10	○ 良かった動きやもう少し頑張りたいと 思った動きを、ペアで話し合おう。 ・ もっと場を大きく使うと迫力が出るね。 ・ 息がぴったり合って踊って楽しかった。 ・ 面白い場面ができた。その場で考えるの も楽しいね。	
5 学習のまとめ	5	○ ウェビングマップとワークシートに、 学習で感じたことを書きましよう。 ・ 表現力が少しずつ身に付いてきたように 感じるよ。 ・ ぼくたちの表現力をだれかに見てもら いたいな。	○ 児童の表現運動への意欲の高まりを生か し、発表会で頑張りを見せ合う場を設 ける流れを作り、次の活動への期待感 を持たせる。

研究の視点

- 新たな動きや変化の付け方の工夫に関して、ICTの活用は効果的であったか。
- 仲間との豊かな関わりを十分に持たせる授業構成であったか。